

第69次那覇支部教育研究集会

教育条件整備

～歴史と法整備から学ぶ～

沖縄県教職員組合 中央執行副委員長 下里文子

沖縄県教職員組合 50年の歩み

沖縄県教職員組合の歴史

1. 「沖縄教職員連合会」設立（1947年2月）⇒ 74年目
2. 「沖縄教職員会」に改組（1952年4月）⇒ 69年目
3. 「沖縄県教職員組合」結成（1971年9月）⇒ 50年目



1. 沖縄教職員連合会「復帰前」

- * 1945年9月7日 日本軍沖縄守備隊、降伏文書に調印
- * 1946年1月10日 沖縄文教学校開校
- 11月4日 日本国憲法公布
- * 1947年2月14日 「沖縄教職員連合会」設立
- 6月18日 日教組結成大会
- 12月10日 「沖縄教育後援連合会」結成
- * 1950年5月22日 琉球大学開学「首里城跡」
- 11月29日 那覇市栄町に教育会館建設「1代目会館」



2. 沖縄教職員会「復帰前」

- * 1952年4月1日 「沖縄教職員連合会」、「沖縄教職員会」に改組
- 「会長に屋良朝苗」 琉球政府発足
- 4月28日 対日講和条約第3条により、沖縄・奄美など切り捨て
- 5月7日 第1回教育関係戦没者慰霊祭を大道小学校にて開催
- 5月17日 第1回教職員大会
- 9月8日 「沖縄教職員共済会」設立認可
- * 1953年1月18日 「祖国復帰期成会」発足
- 12月18日 「沖縄子どもを守る会」結成
- 「会長 屋良朝苗」
- * 1954年11月1日 那覇市久茂地に教育会館落成「2代目会館」
- * 1970年11月15日 戦後初の国会議員選挙、参議院に喜屋武真栄当選
- 12月20日 コザで反米暴動起こる



- * 1955年1月17日 第1次教育研究中央集会開く
- * 1958年7月29日 第1回「母親と女教師の会」開く
- 8月6日 「原水禁沖縄県協議会」結成
- * 1959年6月30日 石川市宮森小学校に米軍機墜落
- 4月2日 八汐荘竣工 ⇒ 1960年完成
- * 1960年6月28日 「沖縄県祖国復帰協議会」結成
- * 1961年4月4日 「沖縄人権協議会」設立
- * 1962年3月14日 沖縄教職員会、第20回総会で組合移行を決定
- * 1963年4月28日 北緯27度線で「海上集会」



- * 1964年9月25日 「沖縄県労働組合協議会」（県労協）結成大会
- * 1966年4月1日 日政援助により、中学生に教科書の無償配布実現
- * 1967年2月24日 教公2法阻止闘争で10割年休行使、2.5万人が立
法院包囲、廃案協定
- 7月1日 沖縄県高等学校教職員組合結成
- * 1968年6月5日 革新共闘会議「明るい沖縄をつくる会」
- 11月11日 初の公選主席に屋良朝苗勝利
- * 1969年2月14日 「沖縄県教育振興会」結成
- 2月15日 教職員会編集「わたしたち
の沖縄」を副読本に採用
- * 1971年1月16日 復帰対策県民会議発足



主席公選・三大選挙勝利「1968年」

3. 沖縄県教職員組合 「労働組合移行後」

【1971年度】

- * 9月29日 「沖縄教職員会」 解散
- * 9月30日 「沖縄県教職員組合」 結成
- * 10月30日 「沖縄県学校用品株式会社」 設立
- * 11月10日 11・10ゼネスト（完全復帰要求）
- * 11月22日 「退職教職員の会」 結成大会



教職員会解散総会と沖教組結成大会「1971年」



【1972年度】

- * 5月15日 沖縄の「施政権」が返還され〈沖縄県〉となる
- * 6月25日 初の県知事選に屋良朝苗さん圧勝
- * 12月1日 沖縄大学存続闘争
(1973年7月1日、
文部省沖縄大学の存続認可)



屋良さん、初の知事選に圧勝

【1973年度】

- *6月26日 沖教組第4回定期大会で「日教組に一括加盟する方向で取り組む」を決定
- *12月27日 「沖縄県校長・教頭組合」結成
- *1月12日 沖教組第1回文化祭
- *1月14日 沖教組第5回臨時大会
(日教組加盟決定)



【1974年度】

- *4月1日 沖教組「日教組」に正式加盟する

【1975年度】

- *4月19日 「沖縄県学校生活協同組合」総会
- *7月3日 育児休業法成立
- *9月24日 嘉数女子学園闘争（県の斡旋で和解成立）

【1976年度】

- *6月13日 県知事・県議会議員選挙に革新側完全勝利
- *9月18日 県道104号線封鎖実弾射撃演習阻止闘争

【1977年度】

- * 6月3日 日教組 30 周年式典（記念バレーボール大会男子の部で沖教組チーム優勝）
- * 1月26日～29日 日教組第 27 次全国教研沖縄集会
- * 3月15日 教公2法阻止「2・24 闘争」
16 被告に那覇地裁が有罪判決



【1978年度】

- * 12月11日 主任制度化粉碎・手当支給阻止闘争
県知事選挙で西銘保守県政出現
「主任制度」「管理職選考試験」の強行に続き
「日の丸・君が代」の義務化・強制、沖教組との
「協定書破棄」「広域人事異動」などに加え、
「処分行政」を断行した。一連の矢継ぎ早の弾圧、
攻撃によって教育現場は分断・管理体制強化された。

【1979年度】

- * 自衛官募集業務拒否闘争

【1980年度】

- * 4月23日 第12回臨時大会（主任制化阻止闘争戦術決定。5月10日、84%でスト権確立）
- * 9月2日 同上、日教組現地闘争本部設置
- * 9月3日 主任制反対県民共闘会議
県教育長へ凍結申し入れ
- * 9月19日 主任制度粉碎、
手当支給阻止闘争
（早朝2時間ストライキ）



【1981年度】

- * 7月9日 「民主教育をすすめる県民会議」結成
- * 7月30日 沖教組結成10周年行事
- * 1月30日 私立中央高校の県立移管決定
- * 3月31日 県議会「主任手当」
を盛り込んだ一般会計を可決



【1982年度】

- * 12月16日～24日 人勧凍結、公務員共闘第2波統一スト
（16日早朝2時間、24日 2時間30分）に対し、県教育庁初の不当処分を行う。戒告 10 人、文訓 476 人
人事異動闘争
（県教育庁交渉打ち切り、一方的に方針決定）

【1983年度】

- * 6月26日 参議院選挙革新統一候補・喜屋武真栄さん圧勝
「沖教組推薦」

【1984年度】

- * 6月18日～24日 日教組第60回定期大会
那覇市を中心に開催
- * 11月24日～26日 沖教組第31次中央教育
研究集会を宮古平良市で開催
- * 11月25日 管理職選考試験（第1次会場・那覇高校）
反対行動
- * 12月16日 沖教組教育研究所設立
1月9日より「教育心配ごと相談室」を開設



【1985年度】

- * 6月28日 「沖教組10年史」を発行
- * 2月25日 「日の丸・君が代」
反対県民総決起大会（与儀公園）



【1986年度】

- * 4月7日 公立小中学校、県立高校入学式で「日の丸・君が代」の押しつけ反対闘争にとりくむ
- * 12月11日 「義務教育国庫負制度改悪反対」
沖縄県総決起集会を開催
- * 3月31日 「主任手当」返還行動（第3次）県教育庁へ

【1987年度】

- * 6月21日 嘉手納基地包囲大行動
25,000 人が参加し、17.4 k m
の嘉手納基地を人間の鎖で完全包囲
- * 9月29日 「学校栄養職員部」結成（沖教組3階ホール）
- * 10月25日～30日 第42回国民体育大会（海邦国体）開催
（国体の民主化闘争にとりくむ）
- * 2月5日 「教科書裁判」沖縄出張法廷勝利県民決起大会
与儀小学校で開催



【1988年度】

- *10月2日 「学校図書館司書部」結成
- *12月15日 沖教組第23回臨時大会（宜野湾市民会館で高教組の「分離分立」を決定）

【1989年度】

- *7月23日 参議院選挙で喜屋武真栄さん、33万7千票を獲得し圧勝「沖教組推薦」
- *10月18日 沖教組第25回臨時大会沖縄市民会館で「沖縄県連合」結成準備会参加を決定

【1990年度】

- *8月5日 カデナ基地を人間の鎖で包囲する大行動
- *11月18日 大田革新知事誕生「沖教組推薦」
- *3月27日 八重山年休拒否事件・・・勝訴



【1991年度】

＊5月9日 県臨時議会で「慰霊の日」の休日存続を条例決定

沖教組は「教え子を再び戦場に送らない」

を誓い、「慰霊の日」を中心に平和学習の特設授業を実施してきた。しかし西銘政権は「慰霊の日」の休日廃止を県議会に提案。しかし、沖教組の運動や県民の要求が実り「休日」を存続する条例が制定された。



【1992年度】

＊5月30日 特昇制度の実施による給与水準の改善

九州で最下位にあった沖縄教職員の給与水準を6年で全員に適用する改善を勝ち取った。

＊9月12日 学校5日制スタート（月1回）

【1993年度】

＊5月27日 「義教法」堅持、沖教組決起大会

多くの組合員が「教育予算増額、義務教育費国庫負担制度堅持」沖教組総決起集会に結集。その後、7月14日 県議会本会議で、「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」が採択



（義教法堅持・沖教組決起集会）

【1994年度】

- *5月27日 「子どもの権利条約」日本158番目の遅れた批准
「保護対象」だった子ども観の転換
- *10月1日 教育心配ごと相談室開設 10周年記念フォーラム
1984年1月相談室を開設し、
学校現場の職員や保護者と共
に「何をどうすべきなのか」
を考えていく場にしていく取
り組みをしてきました。



【1995年度】

- *5月14日 普天間基地を人間の鎖で包囲する大行動
- *6月23日 「平和の礎」完成除幕式
- *10月5日 「米兵による暴行事件糾弾」
沖縄教組・高教組総決起大会
- *10月21日 米兵暴行事件糾弾・日米地
位協定見直し要求、
沖縄県民総決起大会「約8.5万人」
- *2月24日 第1回支部間交流スポーツ大会



【1996年度】

*5月10日 沖教組・高教組「協議会」を結成

*9月8日 「日米地位協定の見直し、基地の整理縮小」を問う
県民投票賛成票が48万2千余で、投票総数の89%
全有権者の53%に達し、
基地ノーという沖縄県民の
意志が明確に示される



【1997年度】

*4月1日 育児時間の90分延長と男性への適用をかりとる

*4月17日 「米軍用地特措法」改悪される
県収用委における「公開審理」
闘争につづく。

*7月9日 教科書攻撃と自由主義史観につ
いて批判学習会開催



【1998年度】

*8月27日 「教公2法闘争史」を刊行

*1月17日 「母と女性教職員の会」40周年記念集会開催

【1999年度】

- *8月9日 「国旗・国歌法案」参議院本会議で強行採決（8月13日より施行）
- *9月2日 「新平和祈念資料館」の展示変更問題で県に抗議・要請
- *9月30日 「主任手当」の拠出金の活用を第7回中央執行委員会で決定



【2000年度】

- *4月25日 「学校評議員制」導入反対学習会
- *7月20日 カデナ基地包囲行動
(沖縄教組も 3,300 人)
6月の米兵による女子中学生への「ワイセツ行為」への県民の怒り、抗議を背景に、また 21 日から 23 日の「沖縄サミット」を直後に控え、3 度目の嘉手納基地包囲行動が 2 万 7000 人（沖縄、本土、世界各国から）の参加で大きく成功！



* 8月5日～7日 青年部の「広島平和交流の旅」 (15人参加)

⇒ 以降20年連続開催



〈広島平和交流の旅〉

* 10月23日 「学校評議員制導入」 反対

* 3月17日 教科書をめぐる「3・17 緊急集会」

【2001年度】

* 9月30日 沖教組結成30周年式典

* 12月8日 30周年記念沖教組文化祭

* 2月24日 日教組人権教育交流集会
・那覇市



【2002年度】

- *6月「給与振り込み」スタート
- *6月28日「平和劇シナリオ集」刊行
- *10月10日教育基本法・公務員制度改悪を許さない講演学習
- *11月28日「守ろう！義務教育費国庫負担制度」沖縄県集会
- *11月30日 教育改革キャンペーン統一行動（テレビCM）
- *12月5日 連続講座：「心のノート」がもたらすもの
- *2月28日 シンポ「教育基本法を守ろう」
- *3月31日 沖教組教育問題検討委員会答申

【2003年度】

- *11月15日 教育改革キャンペーン統一行動
- *12月28日～30日自衛隊のイラク派兵に反対する「ピースサイクリング」実施（中頭支部）
- *1月20日 「自衛隊のイラク派兵をゆるさない」県民集会
- *2月6日 日教組「教育文化フォーラム in沖縄」開催

【2004年度】

- * 5月16日 普天間基地を人間の鎖で包囲する大行動
- * 8月13日 米軍大型ヘリ「CH53D」、沖縄国際大学に墜落
- * 9月12日 「沖国大ヘリ墜落事故」抗議集会（3万人結集）
- * 10月15日 第103回中央委員会にて青年部の細則及び選挙規定が改正
青年部は各支部40歳未満の男女組合員をもって構成する。「2005年4月1日より施行」
- * 12月29日～30日 ピースサイクリング2004実施（本部青年部）
- * 3月17日 新生青年部での初の青年部長選挙、西島一郎さんを信任

【2005年度】

- * 5月13日 戦後60年「5・15平和行進」
- * 5月15日 米軍大型ヘリ墜落事故を許さない普天間基地包囲行動
- * 5月23日 「組織財政検討委員会」立ち上げ「評価システム対策委員会」立ち上げ
- * 10月22日 「義務教育国庫負担制度堅持」街頭署名活動
- * 12月9日 「一方的な評価システムの導入を許さない」集会
- * 2月17日 第1回青年部主催「ピースコンサート」開催。
- * 3月5日 メンタルヘルス講演会 講師 丹生聖治（大分協和病院診療内科医）
- * 3月22日 初の育休者向けイベント「カムバックセミナー」を開催⇒以降16年連続開催



【2006年度】

- *4月1日 「教職員評価システム」実施
- *5月23日 「教育基本法改悪ストップ!」沖縄県集会
- *7月1日 「非常事態宣言」発する（沖教組第42回定期大会にて）
- *7月15日 平和絵本講座開始「沖教組教育研究所」
- *9月23日 教育基本法改悪反対行動のとりくみ 記者会見・街頭
アピールウォーク・街宣マイク・座り込み等
- *10月31日 「教育基本法の改悪を許さない」県民集会 県民広場
- *3月11日 平和絵本講座作品発表会 宜野湾市 中央公民館
- *3月27日 「ピーター・フランクフル」講演会 沖縄コンベンショ
ンセンター「参加人数約 800 人」



【2007年度】

- *6月9日 「沖縄戦の歴史歪曲を許さない!」沖縄県県民大会
(5000人)
- *8月10日 「集団自決」裁判出張法定「那覇地裁」
- *8月 県議会議員・市町村議員との「学習・懇談会」をスター
ト ⇒ 以降13年連続開催
- *9月29日 「教科書検定意見撤回を求める」
県民大会 (約11.7万人)
- *沖教組HP開設



【2008年度】

- * 6月1日 県議会選挙にて沖教組推薦候補23人当選
- * 7月22日 「沖縄・フィンランド協会」設立
シンポジウム開催
- * 8月 県議会議員・市町村議員との「学習懇談会」
6支部にて開催
- * 9月26日 中国浙江省教育工会使節団沖縄訪問
「日教組九州地区協として受け入れ」

【2009年度】

- * 5月 各地区において「フィンランド教育」学習会開催
- * 8月30日 衆議院選挙投開票、民主党大勝利で民主・社民の政権交代を実現。
沖縄4選挙区で1区「赤嶺政賢」、2区「照屋寛徳」、3区「玉城デニー」、4区「瑞慶覧長敏」
- * 1月31日 辺野古新基地建設反対の稲嶺進さん名護市長初当選「沖教組推薦」
- * 2月10日 日教組幼稚園担当役員、八重山支部にて「政権交代で幼稚園教育はどう変わるか」
- * 2月27日 青年部ピースフェスティバル「北谷町アラハビーチ」
- * 3月29日 山本委員長、福島少子化担当大臣に「沖縄の幼稚園教育設計」で大臣官房に要請
- * 3月 沖教組新規加入者251人で、30年来で初めて組合員純増を記録
⇒以降11年連続純増
- * 幼稚園部の学習会を各支部にて開催「フィンランド教育と幼児教育」

【2010年度】

- *4月 「臨時教職員部」結成
- *5月23日 鳩山首相の県外移設撤回への抗議集会
- *7月11日 参議院選挙、民主党惨敗
- *8月 夏休み分会訪問、145分会1200余人の参加
- *3月 沖教組の新規加入者415人で過去最高を記録
- *3月11日 東日本大震災発生



【2011年度】

- *8月23日 八重山地区教科書採択協議会にて社会科公民問題
- *9月8日 八重山地区全教育委員会にて社会科公民「東京書籍」に決定
- *9月 宮古地区学校統廃合問題でオルグ活動
- *11月23日 八重山地区教科書県民大会「カデナ町民会館」
- *12月17日 「平和の夕べ」琉球大学学生による「孫が伝える沖縄戦」沖教組研究所主催
- *3月21日 会計検査院による「欠勤届・給与返還」強制を許さない署名（3122筆集計）



【2012年度】

- *9月9日 「オスプレイに反対する」
県民大会（10万3千人参加）
- *10月 オスプレイ普天間基地強行配備
「12機」
- *12月16日 衆議院選挙、自公政権に「再交代」
- *2月28日 「欠勤届・給与返還」問題
県人事委員会からの勧告、沖教組
の主張全面的に認める



【2013年度】

- *4月 沖縄県教育会館、一般財団法人に移行完了
- *7月21日 第23回参議院選挙にて糸数慶子さん当選
「沖教組推薦」
- *8月 オスプレイ追加配備強行「24機体制」
- *11月3日 全国平和護憲大会、沖縄那覇市で開催
- *1月19日 辺野古新基地反対の稲嶺進名護市長再選
「沖教組推薦」
- *賃金削減問題、削減強行と一部返還
- *3月31日 臨時教職員の3月31日、4月1日の空白日問題解消

【2014年度】

- * 4月9日 教科書無償措置法改正、八重山教科書問題（竹富町単独採択区）
- * 6月28日 沖教組第50回定期大会開催
- * 11月16日 沖縄知事選挙、翁長雄志さん10万票差で当選
「沖教組推薦」
那覇市長選挙、城間幹子さん当選「沖教組推薦」
- * 12月14日 衆議院沖縄4選挙区、赤嶺政賢さん「1区」、照屋寛徳さん「2区」、玉城デニーさん「3区」、仲里利信さん「4区」で反自民候補完全勝利
- * 1月 辺野古・高江新基地工事強行、現地闘争激化
- * 3月 新規加入360人で6年連続純増達成

【2015年度】

- * 4月 新装「八汐荘」完成
- * 11月15日 「島ぐるみ会議」訪米行動、
沖教組から神里竜司さん派遣
- * 11月20日 日教組全国代表者会議沖縄開催
「日教組機関会議は31年ぶりの開催」
- * 12月 辺野古埋め立て代執行訴訟、
抗告訴訟



【2016年度】

- * 6月 県議会選挙で沖教組推薦議員が27人当選
「過去最高水準」
- * 7月 第24回参議院選挙にて伊波洋一さん当選「沖教組推薦」
- * 12月 辺野古埋め立て訴訟、最高裁不当判決
- * 1月13日 オスプレイ辺野古付近「安部海岸」に墜落

【2017年度】

- * 4月 「オール沖縄会議」へ事務局長派遣「山本前委員長」
- * 8月12日 翁長知事を支え、辺野古新基地を造らせない県民大会「約5万人」
- * 8月15日 「オール沖縄会議」
第2回訪米団派遣
- * 12月29日 普天間基地へリ窓落下
事故抗議集会
- * 1月24日 南城市長に瑞慶覧長敏さん当選「沖教組推薦」
- * 1月28日、2月10日 教職員働き方改革講演会



【2018年度】

- *8月11日 辺野古埋立て土砂投入に反対する県民大会「7万人」、
事実上翁長知事の追悼大会に
- *9月30日 県知事選挙、翁長知事の後継に玉城デニー、8万票余の
大差で当選「沖縄組推薦」
- *10月14日 豊見城市長選挙にて山川仁さん当選「沖縄組推薦」
- *10月21日 那覇市長選挙にて城間幹子さん再選「沖縄組推薦」
- *1月 沖縄組働き方改革キャンペーン、ラジオ番組、講演会開催
- *2月24日 辺野古埋立ての賛否を問う県民投票で「埋立て反対」
が72%の圧倒的多数
- *3月16日 辺野古埋立てを許さない県民大会「約1万人」

【2019年度】

- *4月21日 衆議院沖縄3区補欠選挙にて屋良朝博さん当選
「沖縄組推薦」
- *7月 第25回参議院選挙にて高良鉄美さん当選
「沖縄組推薦」
- *8月 国際平和ビューロー（IPB）共同代表ライナーさん、
米軍基地辺野古視察「オール沖縄会議」
- *10月 アジア太平洋系米国労働連合「APALA」代表団、
辺野古視察「オール沖縄会議」

【2020年度】

- *6月 コロナ禍の影響で沖教組定期大会、書面決議で開催
- *6月 那覇市栄町に新教育会館の新築工事始まる
- *11月 久茂地の教育会館で最後の教育慰霊祭が行われる
- *2月 RBCと教育改革キャンペーン

【2021年度】

- *5月 安里の新教育会館に移転
- *6月5日 祈願祭
- *6月 コロナ禍の影響で沖教組定期大会
書面決議で開催
- *7月31日 新教育会館落成式



伝えたいこと

大切なことは、これまで先輩方が頑張って手に入れた権利等に感謝し、これからの後輩たちにどんな教育環境を整えられるかだと思います。そして**学校現場の声を届けるためには組合が必要です！**組合が今後も継続して、労働条件や職場環境の整備にとりくんでいくためには、若い教職員の力が必要になります。

若い教職員は学校を中心として様々な役割を担い、多忙感を感じていると思います。だからこそ、自らの労働条件や労働環境に関心を持ちましょう！

時代を超えた**ユイマール活動**に参加しませんか♥